

ゴルフ・関東女子学生選手権

「迷わず、緊張せず、自分のゴルフできた」

小川(陽)が初優勝

木村とともに「朝日杯」出場へ

関東女子学生ゴルフ選手権が8月5日から8日まで、埼玉県・狭山ゴルフクラブで開催され、小川陽子(経済2・香川西高)が初優勝に輝いた。

18ホール・ストロークプレー方式の予選では、果敢に攻める強気のゴルフで初日68(33、35)、2日目71(36、35)のトータル139でトップ通過。2位の木村麻希(経済3・明徳義塾高)とともに、上位3人に与えられる朝日杯争奪日本女子学生ゴルフ選手権の出場権を獲得した。

3日目からは予選上位16人によるマッチプレー方式の決勝トーナメント。「相手のゴルフを見ながらプレーし、攻めたなり、安全にいったりした」と冷静にラウンドし、日大の丸山、青木を破り、4日目の準決勝へ。「ここまで来たら、迷わず攻めよう」と思い、緊張せずに自分のゴルフができた」と振り返る通り、準決勝で日体大・中村を4アンド2で破ると、決勝は今大会好調のバットがさえ、法大・綾田を2アンド1の接戦の末、下した。

木村と、予選6位の小川真実(文4・堀越高)も決勝トーナメントに進出し、ともにベスト8に入った。

また、岩田佳那(商2・埼玉栄高)を含めた4人が、予選上位26人以内に入り、日本女子学生選手権の出場権を得た。



▲ 優勝した小川陽子のティーショット

専攻ポロ

No.270

http://www.senshu-u.ac.jp/campuslife/sports_info/index.html

日本女子学生選手権 小川(陽)が5位 来年の出場権

8月27日から29日まで、愛知県・春日井カン

トリークラブで日本女子学生ゴルフ選手権が行われた。初日から安定したゴルフを見せた小川陽子が3日間トータル220(72、75、73)で5位となり、来年度の同選手権の出場権を得た。

小川は「関東学生の優勝でプレッシャーを感じていたが、プレーすることで、すぐに忘れることができ、良い位置でラウンドすることができた」と振り返り、「もっと高い目標を持って、上を目指したい」と次の大会へ向け、意気込みを語った。

また、男子の日本学生選手権(8月26、29日、千葉県・鷹の台カントリー倶楽部)では上位入賞はならなかったものの、7人が日本学生選手権への出場権を決めた。

男子の関東学生選手権(8月5、9日、千葉県・鷹の台カントリー倶楽部)では上位入賞はならなかったものの、7人が日本学生選手権への出場権を決めた。

また、男子の日本学生選手権(8月26、29日、同クラブ)は、宮里政志(文3・鹿島学園高)が12位と健闘した。(佐山 竜太・経済2)

レスリング・全日本学生選手権

荒木田、中谷が準優勝

(フリー・グレコ120kg級)(グレコ96kg級)

前田、矢野、平川3位入賞



▲ 2種目で準優勝を果たした荒木田

全日本学生レスリング選手権が8月28日から31日まで、大阪府・堺市金岡公園体育館で行われた。フリー、グレコの両スタイル120kg級で荒木田進謙(経済3・光星学院高)、グレコ96kg級で中谷月明(文3・添上高)が、それぞれ準優勝を果たした。

荒木田は「今大会は自分で思っていた以上に、実力を出しきれなかった。次の試合に向けてしっかりと調整していきたい」と話した。また、中谷は「タイトルは逃して

しまったが、良い手応えをつかめた。次は優勝を狙いたい。さらに頑張る練習に取り組んでいきたい」と語った。

他の階級ではグレコ55kg級で前田拓郎(経営4・上田西高)、同84kg級で矢野将章(経済4・広陵高)、同120kg級で平川一(商3・三井高)が、いずれも3位に入賞した。今後は9月18日、東京・駒沢体育館で行われる全日本学生王座決定戦に照準を定めて調整していく。(天津 智世・経営1)



▲ 3位に入賞し、全日本学生での活躍が期待される田村

関東学生バドミントン選手権が8月29日から9月5日まで、北海道立総合体育センターで行われ、女子シングルスで田村千秋(文2・昭和学園)が3位入賞を果たした。

1回戦シードの田村は2回戦から6試合を2-0のストレート勝ち。順調に駒を進めたが、準決勝で今大会を制した早大・関谷に力及ばず0-2で敗れた。「昨年も準決勝で同じ相手に負けたので、とても悔しい。来年こそは勝てるように頑張ります」と話した。

女子団体は1回戦で立教大に、2回戦で東京情報大に3-0で勝利したが、準々決勝で日体大に2-3で惜敗し、昨年同様ベスト8に終わった。また、今大会と6月の関東学生バドミントン選手権の結果、シングルス4人、ダブルス4組が10月の全日本学生選手権の切符を手にした。

漕艇・関東学生カヌー選手権

14年ぶりの快挙

カヤックフォア1000は準優勝



▲ 14年ぶりに優勝を果たしたリレーのメンバー(左から松田、真鍋、和田、渡邊)

同組はK-4・1000mでも準優勝。また、K-2・1000mで松田・和田組が3位に入るなど、多くの種目で上位に入賞。この結果、大学成績は男子カヤック部門で準優勝、同総

合で3位となった。松田雄幸(経営3・谷地高)、渡邊秀幸(文3・富士河口湖高)、和田恭平(商2・二本松工高)が3連覇に向け、各選手の実力は確実に上がって

カヤックシングル500m×4リレー優勝

真鍋・松田・渡邊・和田組

年ぶりの快挙で、部員たちの喜びもひとしおだ。

同組はK-1・1000mでも準優勝。また、K-2・1000mで松田・和田組が3位に入るなど、多くの種目で上位に入賞。この結果、大学成績は男子カヤック部門で準優勝、同総

テニス・全日本学生選手権

海野・廣瀬組が3位

全日本学生テニス選手権が8月29日から9月7日まで、東京都・有明テニスの森で行われた。男子入賞を果たした。

準決勝は1-6、5-7と第2セットで粘りをみせたが敗れた。廣瀬はベスト16入りした。



▲ 健闘した廣瀬(右)と海野

関東学生選手権が8月18日から26日まで、東京都・武蔵野ローテニスクラブほかで行われた。

女子ダブルス松山・石塚組 シングルス藤井がベスト8

松山は「悔しい。もっと安定したストロークで相手を崩すテニスをした」と反省を口にした。藤井は「苦手のクレイコートで、暑さもあり、つらい試合だったが、みんなの応援のおかげで準々決勝まで来ることができた」と話した。(菅原 亜美・文1写真も)

バドミントン・東日本学生選手権 女子シングルス田村が3位

東日本学生バドミントン選手権が8月29日から9月5日まで、北海道立総合体育センターで行われ、女子シングルスで田村千秋(文2・昭和学園)が3位入賞を果たした。

1回戦シードの田村は2回戦から6試合を2-0のストレート勝ち。順調に駒を進めたが、準決勝で今大会を制した早大・関谷に力及ばず0-2で敗れた。「昨年も準決勝で同じ相手に負けたので、とても悔しい。来年こそは勝てるように頑張ります」と話した。

女子団体は1回戦で立教大に、2回戦で東京情報大に3-0で勝利したが、準々決勝で日体大に2-3で惜敗し、昨年同様ベスト8に終わった。また、今大会と6月の関東学生バドミントン選手権の結果、シングルス4人、ダブルス4組が10月の全日本学生選手権の切符を手にした。